

第1章 示された東証の今後の対応

第2章 上場会社の課題：資本効率と収益性

第3章 **日本市場の課題：市場コンセプトと投資家との対話力**

第4章 市場全体のデザインと強化ポイント

上場会社の時価総額の変化(過去10年間)

過去10年間の時価総額の変化	10年前の時価総額				合計	比率
	100億円未満	100億円以上 1,000億円未満	1,000億円以上 1兆円未満	1兆円以上		
10倍以上	87社	24社	6社	1社	118社	4%
5倍以上 10倍未満	154社	65社	32社	2社	253社	9%
3倍以上 5倍未満	253社	152社	57社	6社	468社	16%
2倍以上 3倍未満	309社	210社	81社	16社	616社	21%
1倍以上 2倍未満	480社	388社	131社	20社	1,019社	35%
1倍未満	171社	185社	42社	4社	402社	14%
合計	1,454社	1,024社	349社	49社	2,876社	100%

上昇86%

英文開示の供給と需要

	上場会社の実施	海外投資家が必要とする資料
英文開示実施	92.1%	-
決算短信	77.1%	80%
株主総会招集通知	76.1%	61%
IR説明会資料	61.1%	74%
適時開示(決算短信以外)	38.7%	72%
CG報告書	24.5%	61%
有価証券報告書	13.3%	70%

プライム市場(1,837社)実施状況2022年7月時点

東証が2021年8月に実施したアンケート調査で必須若しくは必要と回答

需給ギャップが大きい

※2012年6月末から現時点まで継続して上場している会社を対象として、2012年6月末と2022年6月末の時価総額を比較